

AMDAの活動支援

岡山 山 社 宗 忠 神 社 バザーで収益金寄付

国際救援活動の一環として開かれた「AMDA支援チャリティーバザー」岡山、宗忠神社境内



員らが持ち寄った日用雑貨や衣料品、陶器などのほか、高根県の出巻そばや高知県のサツマイモなど全国の特産品を市価の半額程度で販売。境内いっぱいになり、テント前は人だかりができ、詰め掛けた主婦らが次々に買い求めている。

会場を訪れた岡山市西市、会社員中島富子さん（まへ）は「家庭の不用品を活用することで、身近に国際協力に一役買えるいい取り組み。これからも続けてほしい」と話していた。

今回の収益金は、先月の洪水被害で食糧難にあえぐベトナムとカンボジアに送られる。バザーの統括責任者で黒住教本部の黒住宗道教嗣は「国際貢献を支える人の輪を岡山で広げるため、今後も物資の協力を呼び掛け、恒例行事として開いていきたい」と話していた。

世界各国の被災地などで医療救援活動を行っているアジア医師連絡協議会（AMDA、本部岡山市椿津）を支援しよう。岡山市上中野、宗忠神社の籌賛会（伊原木一衛会長）は四日、同

神社境内で「チャリティーバザー」を初めて開催。収益金はすべてAMDAに寄付される。救援活動に役立てられ、

同神社の氏子や同籌賛会